

「新・庁舎整備に関する基本方針（案）」に対する市民意見募集 意見一覧

- ・提出された意見は原則として原文どおり掲載していますが、社会的差別につながるおそれのある内容や「新・庁舎整備に関する基本方針（案）」に関係のない内容については削除しています。
- ・また、明らかな誤字・脱字、表記の誤り等は修正して掲載しています。

提出者	資料名	頁	提出された意見
A	解説版	18	<p>ケース⑨の案に賛成します。 市庁舎の歴史的建造物としての全体保存を期待します。 現市庁舎を残し、東側の職員会館を含むビル部分を解体することで、東側の部分が平地となり、市庁舎の建築物としての美しさが際立ち、市の名所となることでしょう。 また、新市庁舎は、現駐車場と笹林公園の段差を有効活用し、必要に応じて高層化をすれば、現在の市庁舎の機能の全移転は可能でしょう。 但し、大牟田市の人口が更に減ることを考えれば、新市庁舎は可能な限りコンパクトに抑え、更には将来使用しなくなるフロアの活用も視野に入れるべきだと思います。 大牟田の栄光と影を映し出す現市庁舎は、破却しないことによって熊本城や姫路城の様な存在に、時を経てなっていくと思います。</p>
B	記載なし		本館を耐震改修して継続使用下さい。
C	記載なし		<p>本編、解説版に対する意見はありません。生まれも育ちも大牟田に今まで住んで来ていますが、そんなに市役所へ行く事もなかったため特に不便だと感じた事はありませんでした。強いてあげるなら、駐車場が使いづらい事がありますが…とはいえ、基本方針を読む限りは検討を進めていくべきかと思います。 私が思った事は庁舎をよく利用している市職員の意見を聞いてみたいです。匿名でいいので意見を募集し、市民の意見を取り入れつつもっと良い新しい庁舎で出来るよう使用する市職員の意見も聞くことで、新しい庁舎はこんなに使い勝手がよくなるという事を市民に発信していった方が新しい庁舎建設に関する理解が深まるのではないかと私は思います。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
D	記載なし		<p>市役所本館は保存すべき 数年前提起された市役所の「耐震基準を満たしていないから建て替えを」という話が出た時、真っ先に「保存すべし」という投書・意見を新聞に投稿し表明しました。</p> <p>改築か否かの諮問委員会からは本館の保存が諮問されたにも関わらず議会も市長も態度が決まっていないのは「慎重に」という以外の「何か」があるように思わせられる事態だと言えるのではないのでしょうか。</p> <p>建て替えられるべきは「本館」ではない。「新館」である。周知のとおり先の熊本地震でつぶれた宇土市役所と同時期に同じ基準、同じ発想で建てられていて先般の耐震判断でも最も危険度が高いと診断されている。市役所職員の命を守るというのならばまずもって「新館」の改築こそ最優先すべきでは。</p> <p>先の小生の提案に示したように、新館と中庭と企業局を含めた場所に高層の庁舎を建てれば本館を含む今の役所の事務関連の床面積は賄える。</p> <p>もとよりこれから人口減が必至のこの町で、しかも業務も電子化がもっと進展するはずのこの大牟田の役所に事務部にどれだけの床面積が必要か検討されただろうか、そしてそれが市民に公表・周知されているか？</p> <p>議事堂は収容しきれまいからそのまま補強して使用する、本館はしばらく「空き家」のままでも良いではないか、まだどうなるかわからない先から事後の使用をあれこれ検討し予定してもあまり意味はない、実際の空間を見ればまた感想も変わるはず。本館は「耐震補強」で十分耐えられる（しかも安い）という諮問委員会の意見を無視するというならそれは暴挙のそりを免れまい。</p> <p>大牟田の町は明治半ばから三井鉱山によって急激に膨張してきたし、空襲でやけのがはらになった。とりもなおさずそれは「歴史的」建造物や施設、建築を持っていない、存在しないという事にならざるを得ない。一方で世界遺産に石炭産業関連施設が選ばれたがこれ等は「三井」という私企業の生産設備・財産であって、大牟田市民の自分自身の財産ではないことは明白。</p> <p>昭和一桁の時期は大牟田の歴史の中で一番光り輝いていた時期ともいえる、その時期に市民の、市のシンボルとして建築した市役所の歴史的意義は何物にも代えがたいものがある。今日に至って、日本中に残存する類似施設は皆「県庁舎」であって「市庁舎」は全国唯一。大牟田市・市民にとって唯一の日本中に誇ることでできる「歴史を語る建造物」である。また大牟田駅に降り立って広場からすぐ見える市役所の姿こそ「大牟田のシンボル」。先だつての歴史建造物指定に動いたのもその思いがあったからこそこのことではなかったのか。今これを壊して一体何が残るのか。何をシンボルとすることができるのだろうか。</p> <p>新館部分ほかの敷地の東側の改築と本館の耐震工事、この2点は解体工事を含めた脱炭素の要請の視点からも十分検討に値すると確信します。</p>
E	本編	7	<p>新庁舎建設は防災や市民窓口として理解できるが、基本的には本庁舎を耐震改修して活用すべきであり、そのうえで防災や市民窓口機能を集約して新庁舎を建設したらどうか？</p> <p>場所は笹林公園よりも現在の新館や企業局を解体なり改修して本館(本庁舎)は少なくともほぼそのままの外観で耐震改修型の維持をしたらどうか？</p> <p>そのうえで、空いたスペースを市民スペースや民間活用をしてはどうか？(例えば、えるる、文化会館、中央地区公民館などのような市民活動のための貸しスペースはもっとあってよいと思う)</p>
	本編		<p>以前投稿したものに一案追加します。以前投稿したものは市庁舎としても現本館を使い続けて小ぶりな新庁舎に窓口機能を追加するというものですが、もし全くの市庁舎以外としてのかつようであれば、市営もしくは公設民営で大牟田の博物館・美術館・文化財収蔵庫機能を統合した総合博物館・美術館にする、ということを追加します。</p>
F	本編	2	<p>耐震化工事を実施するのは財政的に難しいのかもしれないですが、実施することはできないのでしょうか。</p> <p>大牟田市役所と同じような見た目の名古屋市庁舎平成19年(2007)に3年かかりの長期に渡り耐震工事を行なっています。</p> <p>特に、旧館の塔屋部分は大牟田市の象徴的な存在として未来の大牟田を担う子どもたちに残していくべきではないのでしょうか。</p> <p>そのような点でも、市内の小学生や中学生に市庁舎の魅力や問題点を公平に定義した上で考えてもらうのも必要ではないのでしょうか。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
	解説版	1	<p>バリアフリー化の工事も耐震化工事とともに行うべきではないでしょうか。だから、エレベーターを入り口付近に設置したり、正面の階段部分の一部を撤去してそこにスロープを取り付けるなど、対策はやろうと思えばやれるのではないのでしょうか。</p> <p>確かに、市役所は小さい子どもからご高齢の方まで多くの方に使いやすいようになってなくてはなりません。それに、市に提出しなければならぬ書類は1階で提出する場合はほとんどです。</p> <p>今自分達が少しの我慢をしていれば、まだ足腰の元気な未来の子どもたちに残していくことができるのではないのでしょうか。</p> <p>実際、この建物ができていた当時やまだ炭鉱があった頃に当時の高齢者は「バリアフリーがなっとらん！」と言っていたのでしょうか。それと、「分かりづらい」といった意見もあります。地図や案内を見れば十分把握できると思います。</p>
F	解説版	18	<p>ケース④がいいと考えました。将来の子どもたちが今の建物の写真を見て、「ああ、こんな建物が昔はあったんだ。見てみたかったな。」などと、絶対思うはず。そのためにも今の市庁舎を残すべきです。</p> <p>また、市の魅力の一つでもあり、イメージアップや知名度向上につながります。市民の皆様思い出してもらいたいのは、皆様の生まれた時、結婚した時、引っ越しをした時などの多くの「物語」がこの建物の中で繰り広げられてきたということです。</p> <p>また、遠い昔にこの街を愛し育ててきた人々がこの街をより良くしていこうとこの建物と共に歩んできたのです。西鉄電車、JR（博多方面）から大牟田駅へ帰ってきた時、車窓から見え、誰よりも早く「おかえりなさい」と声をかけてくれたのは大牟田市庁舎でした。西鉄電車、JR（博多方面）で私たちに「行ってらっしゃい」の一言をかけてくれたのは大牟田市庁舎でした。空襲時も、終戦時も炭鉱閉山時も、、、、そのような数々の歴史の中でも大牟田市の中心としてビクともせず立って勇気を与えてくれたのは大牟田市庁舎でした。</p> <p>だからこそ次の百年後の大牟田にも昔の人々と、今の大牟田市民の思いを乗せて、市の中心として頑張ってもらいたいです。一回壊した建物は二度と取り戻すことができません。今、財政が厳しく大変とは思いますが将来のことを考えるとケース④で残していくのが最善だと考えました。</p>
G	記載なし		<p>私は市庁舎本館の建替に反対し今後とも本館を市庁舎として使用し続けることを希望するものです。以下反対の理由を述べます。</p> <p>(1) 建替のための積み立て金が20数億円では沢山の借金をしなければならず将来の市財政に大きな負担をかけることになるからです。ひいては市民へのサービスが十分でなくなる事を恐れるからです。現在、市の債務残高は400億円を超え毎年返済のため、2018年一般歳出額（一般会計）の2018年8.5%、2019年8.8%を支出しています。そのためか特に高齢者への福祉面のサービスが十分でないように思えます。福岡県内および近隣の自治体に比べてです。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近くの公園にトイレが無い。東京都内のある市では高齢者向けにトイレを用意しています。 ○低料金の入浴施設がない。 ○交通の不便を解消するためのマイクロバスの運行がなされていない。 <p>建替に必要な積み立て金をせめて建替に必要な費用の半分でも積み立てれば後の負担が軽くなるのではないのでしょうか。「広報おおむた」で、「短期的に見れば改修して使用した方が負担が少なくなるが、長期的にみると建替の方が負担は小さくなる」と述べておられますが、数字の裏付けがなく説得力に欠けます。</p> <p>荒尾市役所は昭和20年代の末頃、荒尾駅の近くから現在地へ移り建てられたと記憶していますが2016年の熊本地震後、耐震工事を行っています。又庁舎の玄関の手前にエレベーターを新設しています。</p> <p>市民の利用度が高い市民課や税務課は全て一階にあり高齢者にとっては大牟田市庁舎より便利とは思いますが。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
G	解説版	4	<p>令和4年10月大牟田市発行基本方針案の解説版P. 4の質問コーナーの第2に「市内に大きな被害が出るような災害が起きた時に…」とありますが大牟田市の過去（歴史）を見ますと震度6以上のものはなかったと考えます。基本方針案において震度6強の地震を想定して現庁舎7つの建物の耐震性を示しておられますが不要と思います。</p> <p>6年前の熊本地震の際の大牟田市の震度を調べてみましたが分かりませんでした。ただ近隣のみやま市、柳川市が5弱～5強、玉名市の横島が5強だったことから大牟田市も5強ではなかったかと推測します。</p> <p>5強以上の大地震がきたとしても震度6強の耐震基準を満たしている北別館・南別館を使用すれば不安は解消されます。</p>
	解説版	6	<p>(2)の解説版P. 6の(3)の下の「質問コーナー」の答えの所に「…6つの機能のほか、市民ホール等の市民が利用できる公共的な機能、…」とあります。私には「市民ホール等の市民が利用できる公共的な機能」の意味がよく分かりません。</p> <p>この機能を果たすものとして、すでに「大牟田文化会館」、栄町の「えるる」があります。これ以上必要でしょうか。</p>
	解説版	5	<p>前後しますが解説版P. 5第3章、庁舎整備の1. 基本姿勢の(1)について。「…に配慮しながら大牟田駅周辺の活性化を目指します。」とあります。</p> <p>昔とくらべ昼間の大牟田駅周辺は人の姿も見ないこともあり寂しいかぎりです。</p> <p>この原因は大牟田の産業構造の変化、そして交通手段の変化から来ています。具体的に言いますと化学工場の合理化や移転（労働者の）、炭鉱の閉山による人口減、そして自家用車による通勤の増加です。</p> <p>庁舎を建替たところで駅周辺の活性化がはかれるとは思えません。</p>
	解説版	17	<p>解説版P. 17、3の(1)の②「…市が施設を保存しながら耐震改修や設備改修などを行い、…支援を行う必要がある。」とありますが新庁舎に建替の費用に加えて現本館やその他の支援のための費用が必要となり市の財政を圧迫します。</p> <p>本館を改修して使用出来るのであれば本館を今まで通り市庁舎として使用する方が建替よりも市財政のために良い。</p>
	記載なし		<p>ここ数年、SDGsという言葉が多く見受けられるようになりました。18世紀半ばに始まる産業革命以降人類は大量生産・大量消費を行い二酸化炭素（CO2）を大量に排出し地球環境を破壊してきました。その結果地球温暖化による災害の多発、二酸化炭素を吸収した海で暮す魚類の死滅がみられ、これらにより人類の危機が心配されています。</p> <p>新庁舎に建替えた場合の二酸化炭素の排出量と本館を改修した時のそれとの比較をしますと後者の方が二酸化炭素の排出量が少なくSDGsの考えに合致すると考えます。</p>
	記載なし		<p>以上述べました5点と本館は大牟田の玄関口に威風堂々とそびえ立ち、市民のシンボルとなっていますことから、本館を市庁舎として使用し続けることを主張し、新庁舎を建替ることに反対します。私の思いを今後の検討に生かされますことをお願いします。</p>
記載なし		<p>「広報おおむた」での4回にわたってのお知らせ、そして基本方針案を読んで感じますことは内容が疑問に具体的内容で答えてなく建替るためのこじ付けと感じられることでした。</p> <p>建替るとすればその建物の規模、考えられる費用をも知らせてほしかったと思います。</p>	

提出者	資料名	頁	提出された意見
H	解説版	21	<p>4行目後半から「市職員出前講座で、整備方法や本館の取扱等を中心とした意見・質問が多数寄せられました。」とありますが、そのあとの記述には<市職員出前講座参加者からの主な意見・質問>となっていて、主な意見2件と質問2件しか載せてありませんでした。</p> <p>意見・質問はみなさんのお考えを知り、方向性を決めるうえで大切なことなので、意見・質問が多数寄せられたのでしたら、寄せられた多くの意見・質問を載せていただき、みなさんがどのようにお考えになっておられるのかを知りたかったです。</p> <p>そこで、今回提出される意見については、「新・庁舎整備に関する基本方針」を決めるうえで大切なことなので、意見の内容がわかりやすい状態での公開をお願いします。</p>
	解説版	6	<p>デジタル化の進む中で、北海道の「書かない窓口」（北見市）のような役所が当たり前になって行くと思います。確かに、縮退社会の中で、今後の役所の在り方も考え直すべきだと思います、</p> <p>新庁舎の規模について、「詳細な調査」とは、どうやって調査をするのですか。役人の方にアンケートを取るのですか。</p> <p>役所の在り方は、市の今後のビジョンの問題でもあると思うので、調査をして答えが出る問題なのかと思いました。大牟田市は、これからデジタルの街を目指す、温かいアナログシティを目指すなど、ビジョンを持って決めて行かなければならないと思います。「調査」の部分が少し引っかかりました。</p>
I	本編	11	<p>大牟田市では、他のインフラも整備しているのは良く見聞きます。</p> <p>しかし、新しい高泉市営住宅など、本当に建てる必要があったのか、と調べてしまいます。住民の方に聞くと住み替え前の住宅に住みたいと答えられる方が殆どです。歴木市営住宅などは、老朽化が進んでいます。一方で、住まわれている住民も大半は高齢の方です。移転に伴う負担も大きなものとなります。</p> <p>十把一絡げに移転させるのではなく、住み続けたい方には、老朽化に伴う危険があることを了承してもらった上で住み続けてもらってもよかったですのでは？と調べてしまいます。新しく、大きな市営住宅を建てても、何十年後に誰も住む人がいなくなり、その時にまた問題になることを懸念しています。</p> <p>同じことは、延命体育館にも言えることと思います。大牟田市内には、廃校の小中学校が沢山ある中で、本当に体育館をつくる必要がありますか。</p> <p>市の方では、民間ができない巨視的な視点で今後の計画を建てる必要があると思います。目先の財政も大切ですが、将来のことを考えて、市政の前提を疑うことも大切かなあとと思います。</p> <p>もし、新しい市役所を建てるならば、計画の段階から市民と一緒に考えるという温かい大牟田市であって欲しいと思います。運営の方法も含めて、みんなで、考えた市庁舎。素敵じゃないですか。</p>
J	解説版	1	<p>「再検討では、①民間事業者への「本館活用の可能性」の聞き取り調査と、②事業シミュレーションを行いました。事業者による活用の可能性があることが分かりました。②では、経済性や機能性などの面で庁舎は新たに整備したほうが良いことが分かりました」と書かれていますが、このようなところで、何の論証もなく、「経済性や機能性などの面で庁舎は新たに整備したほうが良いことが分かりました」と結論付けられると議論ができなくなり困ります。</p> <p>コンサルの見解の受け売りは危険です。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
J	解説版	14	<p>Q16. 本館を庁舎として使うことはできないの?という質問に対して、「本館を改修し、庁舎として使うことは技術的には可能です。しかし、バリアフリーやワンストップサービスなどの市民サービス向上、デジタル化や環境負荷への対応などを行うには構造的に限界があります」と答えています。改修によっていろんな対応が可能だと思いますし、市役所の部門は幅が広いので、市民サービス以外の部門を本館の方に持って来るなどもっと、柔軟に対応する必要があると思います。</p> <p>また、「すでに築 86 年を経過し、いずれ建替えが必要となる可能性が高いため、短期的には安くすんでも、長期的には高くつくと思込まれます」と書かれていますが、これではリファイニング建築などあり得ないということになります。新築よりも安い費用で耐震改修して、機能的にもデザインの的にも、新築同様にリノベーションされている事例は沢山あり、今回のコンサルでは「本館の耐用年数は改修後40年」とされているが、専門家によると大規模改修と適正な維持管理（特に鉄筋の錆の防止）により、新築と変わらない耐用年数を確保できると言われていました。</p> <p>「これらを踏まえ、本館を庁舎として使い続けることは、機能性や経済性の観点から現実的ではないと考えています」と言われますが、民間活用で他の用途では使えるというのは理解できません。</p> <p>「本館は、大牟田駅周辺の活性化などまちづくりにつなげるためにも、民間活用を基本として検討を進めます」というのに反対ではありませんが、庁舎としては使えません、民間活用以外の市民利用は考えませんというのは頑なだと思います。</p>
	解説版	14	<p>Q17. 本館は残すの?という問いに対して、本館の取扱いについての令和元年度に実施した市民アンケートの結果、「残して次の世代に継承してほしい」が27.8%、「解体して、新しい庁舎に建て替えてほしい」が30.1%、「市民の負担（財政的な負担）が小さい場合は残してもよいが、大きい場合は残さなくてもよい」が35.7%、を示して、「まずは市民負担を抑えながら保存できる可能性がある民間活用を基本に検討を進め、令和5年度までに取扱いを決定することを目指します」と書かれていますが、市民アンケートの結果の読み取りは民間活用で市民負担を小さくということだけでなく、本館を含めて既存の市庁舎を有効に活用して、新庁舎の面積を減らして市庁舎整備全体の費用をできるだけ抑えるというやり方も検討すべきだと思います。</p>
	解説版	20	<p>モデルケースによる事業シュミレーションの結果で、機能性、経済性に関する図は解体建替が庁舎使用や民間活用よりも優位になってますが、これが本当であるという確証はない。事業シュミレーションのやり方によって異なる。</p> <p>機能性の図でも庁舎使用に比べて民間活用の方が利便性、効率性、環境性、適応性の何れでも優位であるという確証はない。</p> <p>庁舎使用といってもいろんな使い方があり、庁舎使用が不利とは言えない。</p>
	解説版	1	<p>「耐震診断の結果、市庁舎のうち、「本館」「新館」「企業局庁舎」が、耐震基準を下回っていることが分かりました」とあり、3ページにIs値が示されていますが、Is値が0.6以下でも適切な耐震補強をすれば今後の使用に耐えることも大牟田市が行った耐震診断で示されています。</p> <p>企業局は耐震補強で十分に使えますし、本館も塔屋も含めて耐震補強で使えることが示されています。</p> <p>新館は確かにIs値が低くなっていますが、建物の形状がL型であることも影響しており、新館のうち、本館に平行なI型部分だけを活用すればIs値が上がるということが専門家から指摘されています。</p> <p>耐震補強で使える建物はリファインして使い続けることが経済的でもあります。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
	解説版		<p>Q3. 「機能性」や「経済性」が重要なのは分かるけど、「景観性」や「公共性」はどうして必要なの？</p> <p>庁舎整備を進めていく上では、今後のまちづくりの観点から、「機能性」や「経済性」のほか、「景観性」と「公共性」が重要な視点になります。「景観性」は、建築（庁舎）の持つ「街並みをつくる要素」という役割を踏まえ、大牟田市というまちの玄関口にどのような景観がふさわしいかという視点です。「公共性」は、庁舎（事務所）という機能にとどまらず、広く市民の役に立つ建物・施設であるべきという視点です。と書かれていて大賛成です。</p> <p>それを一番効果的に活かすのは今の市庁舎本館の建物です。是非とも本館を民間活用、庁舎の一部、市民の利用が叶う使い方ができるようにしてほしいと思います。</p> <p>そのためにも本館の民間活用がどこまで進むかによって、庁舎のどの部分を本館に入れ込むか、市民利用の部分をどう本館に確保するかを検討が必要だと思います。</p>
J	解説版	12	<p>Q13. 本館の取扱が決まらなると、新庁舎の整備の検討はできないのでは？という問いに対して「本館の取扱によっては新庁舎の位置や規模等に影響を与えますが、それに関わらず、新庁舎に関する調査や検討を進める必要があると考えています。具体的には、現状における執務室等の使用状況や文書・備品の量などを調べる執務環境調査、敷地に関する調査などの結果を基に庁舎機能の再配置の検討を行います」と答えていますが、その点については異議はありませんが、「本館の取扱によっては新庁舎の位置や規模等に影響を与えます」と言われていますので、影響を与える事項については、新庁舎の整備の検討が始まる基本構想に入る前には明らかになっているのが求められます。</p> <p>「本館については、令和 5 年度に作成する取扱の指針を、令和 6 年度末までに策定予定の新庁舎整備の基本構想に反映し、整合を図っていきます」という流れになると思います。</p>
	解説版	2	<p>今年度の作業予定になっている「本館の民間活用の条件を探る民間事業者へのヒアリング」はまだ、今期のコンサルが決まっていなると聞きましたが、どのようになるのでしょうか。</p>
	解説版	7	<p>Q7. 「庁舎が備えるべき機能」の 6 つは、前・基本方針（案）と変わっていないの？という問いに対して</p> <p>「前・基本方針（案）策定後、令和元年度から新型コロナウイルス感染症が発生・拡大し、今なお収束は見込めない状況です。そのため、前・基本方針（案）の内容に、「④新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対応した機能」を追加しました。また、今後、行政事務のデジタル化や業務効率化に向けた取組も進めていくこととしており、その点は、項目としては同じですが、「①来庁者に分かりやすく、効率的に市民サービスを提供できる機能」に含まれています」とされていますが、やはり、「行政事務のデジタル化や業務効率化に向けた取組み」も新たな項目として追及したが良いと考えます。「庁舎が備えるべき機能については、今後、基本構想や基本計画等の各段階で詳細な内容を検討していく」とされていますのでその方が分かり易いと思います。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
J	本編	7	<p>本館の取り扱い 令和2年2月の市民アンケートの結果、本館を残すことになった場合の使い方として、一部あるいは全部を庁舎として使うというのが4割を超えて最も多く、「めざす会」が昨年4月に実施した市民アンケート（添付資料F）の2頁でも「市役所としての利用だけでなく、市民が利用できるスペースも欲しい」が52%で最も多く、続いて、「市役所としての利用が良い」が31%であり、市庁舎本館はリニューアルして市庁舎として使うとともに、市民が利用できる施設としての利用を望んでいる人が83%に上ったことは市民の意見として無視できません。</p> <p>注目すべきは、市庁舎本館を「民間に払い下げた方が良い」との回答が僅か2%にとどまり、市民は民間への払い下げを望んでいないことが明らかです。また、市民が市庁舎本館の多様な利活用を望んでいることもわかりました。すなわち、「郷土出身の画家や漫画家や映画監督などの芸術作品の展示ギャラリー」、「世界遺産などの観光案内」、市の歴史の紹介や郷土製品の販売といった文化的・観光的な利用、いわば庁舎本館の対外的（市外の人も含めた）利活用が50%であり、次に市民向けの文化講座やスタートアップ（起業）支援施設や屋内広場・談話コーナー、キッズルームや読書・学習空間として利用したいといういわば、対内的（市民の日常的）な利活用が49%でした。</p> <p>市庁舎整備の方向としては、本館を庁舎として生かしながら、防災拠点としての最小限の新庁舎建設というのが、学校施設の利用も含めて55%であり、今の庁舎をリニューアルして使うというのが26%で、本館解体・新庁舎建設は5%、笹林公園に大規模な新庁舎建設は4%しかいないことがわかりました。</p> <p>庁舎として継続して使用するよりも、本館の民間活用を考えた方が将来的には市の負担を抑えながら本館を保存できる有効な方法と決めつけるのは早計であると思います。</p> <p>サウンディングの結果では「民間事業者による全部利活用は難しいが、一部利活用の可能性はある」ということなので、庁舎としての利用を全否定するのは説得力がありません。</p> <p>なお、民間活用には民間事業者による活用だけでなく、市民やNPOなどの市民団体による活用も含めて考えて良いと思われまます。</p> <p>今回の方針で本館の利活用の方向に舵を切ったのであれば一步前進と言えるが、国の登録文化財であることから文化庁の支援を受けるべきなのに、そのことが何も触れられていないのはどうしてなのでしょう。文化庁から耐震改修や内部改修等の助成を得ることが可能と思われまます。</p> <p>そのためには、大牟田市は文化財保護法の改正（2019年）に基づいて、文化財保存活用計画及び保存活用地域計画を定めて文化庁の認定を受けることが必要です。それにより耐震補強やバリアフリー工事の補助が受けられる仕組みになっていますので、早急に専門家を含めた協議会を発足させてそれに取り組む必要があります。</p> <p>本館1階について、2年前の豪雨災害で浸水した市庁舎の報道を見て、大雨で浸水する市庁舎なんか壊してしまえという意見をお持ちの市民もいますが、市庁舎周辺は浸水地域ではなく、1階が半地下式の構造で周囲より低くなっているために浸水するのであり、むしろ排水技術で克服できることを市民に啓発してほしいです。</p>
K	本編	7	<p>登録有形文化財である大牟田市庁舎本館について、民間事業者による利活用を基本に検討するとのことです。</p> <p>しかしながら日本総研のヒアリングにおいても民間事業者から積極的な進出意欲はありませんでしたから、本館全てを民間利用させることは困難ではないかと感じています。</p> <p>つきましては、本館の利用については、先ず大牟田市が自らの備品や資料の倉庫等、市民の対面窓口以外の用途に積極的に使用し、残余を民間利用部分とすべきものと考えまます。</p> <p>そしてその結果、もし新築市庁舎を含む市役所の全機能が現敷地内に収まるのであればこれに優るものはないと思います。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
	本編		<p>「新・庁舎整備に関する基本方針(案)への意見」については、同封してありますとおり多くの方々から意見をお寄せいただきました。</p> <p>意見の内容については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大牟田市、大牟田市民の現状 ・荒尾市シティモールに入ったことによる効果 ・大牟田市も荒尾市を参考にさせていただきたい ・イオン・イオンモール大牟田の地域貢献 <p>の順に書いております。</p> <p>一部については、イオン・イオンモール大牟田の大規模災害時の支援、バリアフリーなどを書いた分もあります。</p> <p>そこで、公表されます時には、内容が伝わるようお願いいたします。</p>
	記載なし		<p>「新・庁舎整備に関する基本方針(案)」は、新しく建て替えることを前提に考えてありますが、市の財政は「令和2年7月豪雨災害」や「コロナ禍」で厳しい状況にあり、市民の生活にしても豪雨災害で被災された方々や、コロナ禍で仕事が減った方々で大変な状態です。</p> <p>そこで、大牟田市と同じような状況にある近隣の荒尾市では、古くなった市立図書館を新しく建て替えるのではなく、予算の節約を考えて、今年4月に大型商業施設の荒尾シティモールに移転されました。</p> <p>結果的には、市立図書館の利用者も増えましたし、荒尾シティモールのお客さんも増えて、お互いに良い効果が生まれました。</p> <p>今後は、大牟田市も人口の減少が見込まれ、市役所の仕事も電子化されてきますので、古くなった大牟田市庁舎についても新しく建て替えるのではなく、荒尾市のように予算の節約を考えて、2011年2月に大牟田市との間で地域貢献協定を締結して、大牟田市の地域振興のために毎年約100万円を寄付していただいている、空き店舗の目立ちはじめた大型商業施設のイオン・イオンモール大牟田に移転することを検討してください。</p> <p>※246人から同じ意見が提出された。</p>
L	記載なし		<p>「新・庁舎整備に関する基本方針(案)」は、新しく建て替えることを前提に考えてありますが、市の財政は「令和2年7月豪雨災害」や、「コロナ禍」で厳しい状況にあり、市民の生活にしても豪雨災害で被災された方々や、コロナ禍で仕事が減った方々で大変な状態です。</p> <p>そこで、大牟田市と同じような状況にある近隣の荒尾市では、古くなった市立図書館を新しく建て替えるのではなく、予算の節約を考えて、今年4月に大型商業施設の荒尾シティモールに移転されました。</p> <p>結果的には、市立図書館の利用者も増えましたし、荒尾シティモールのお客さんも増えて、お互いに良い効果が生まれました。</p> <p>今後は、大牟田市も人口の減少が見込まれ、市役所の仕事も電子化されますので、古くなった大牟田市庁舎についても新しく建て替えるのではなく、荒尾市のように予算の節約を考えて大型商業施設に入ることを検討されたらと思います。</p> <p>大牟田市は、令和2年7月豪雨災害という大規模災害を経験し、自衛隊のみならずみなさんからもご支援いただきました。</p> <p>そこで、また災害が起きた時の自衛隊から支援について考えてみますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路大牟田ICと直結しているため、「陸からの支援」 ・有明海に近いので、「海からの支援」 ・広大な駐車場があり、公園(広い土地)に囲まれているので、ヘリコプターによる「空からの支援」 <p>といった陸・海・空からの支援が受けられますし、福岡県の県土整備事務所(旧土木事務所)も近くにあります。</p> <p>また、バリアフリーについても、エレベーター、エスカレーターが備わっていて、通路も広いので、車いすの方も安心して行くことができます。</p> <p>さらに屋上にはドクターヘリのヘリポートも設置されてありますので、この場所に市役所があれば、市民のみなさんも安心して暮らせるのではないのでしょうか。</p> <p>近頃は、イオン・イオンモール大牟田も空き店舗が目立ってきましたので、市役所が入れば平日のお客さんも増えると思います。</p> <p>そこで、市立図書館が入られた荒尾シティモールのように、大牟田市役所にとっても、イオン・イオンモール大牟田にとっても良い効果が生まれるのではないのでしょうか。「費用対効果」考えて、是非実現してください。</p> <p>※23人から同じ意見が提出された。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
M	解説版	1	<p>解説版1頁3頁4頁</p> <p>熊本地震で被害を受けた旧宇土市庁舎を「立入禁止となった庁舎(例)」として掲載し、現庁舎の概況と課題では、耐震診断の数値のみ紹介、柱の亀裂・浸水の写真等を出して、“市庁舎としては使えないんだなあ”と市民に思わせる恣意的な誘導性を感じました。</p> <p>2017年に実施した耐震診断では、具体的な耐震診断の手法や事業費まで算出されて、耐震補強工事により継続して使い続けることができることが示されました。大学の研究者、建築家協会等、建築構造の専門家からも耐震補強による本館の継続的な活用は可能という助言も頂いています。</p> <p>私は知人から水に浸かるような庁舎は建て替えてしまうべきだという意見も耳にしました。この点について、私は2020年7月豪雨の時に市庁舎に浸水状況を確認に行きました。確かに庁舎東側出入口(駐輪場横)には仕切り板が設けられ、膝上まで浸水し、庁舎内では踝ぐらいまでの水をポンプとモップで排水されていました。庁舎が浸水するのは建物の構造上、半地下になっているため、排水設備を耐震補強と同時に施工することにより解決できます。</p> <p>仮に、市庁舎周辺全域がひどい浸水区域であれば、笹林公園のような高い立地への移転も検討されるべきですが、7月豪雨の時に市庁舎南と商工会議所の間の市道の浸水は踝ぐらいでした。</p> <p>パブコメでは偏らず公平な情報を提供し、市民の意見を吸い上げる工夫が必要と思いました。</p>
M	解説版	14	<p>解説版14頁 質問コーナーQ15Q16についての意見。</p> <p>市は民間資金の活用で本館を残せないかと精力的な調査をされました。しかし、Q15には「民間活用が困難と見込まれた場合には、改めて本館の取り扱いについて、市民の皆さんに意見をうかがう予定としています。」と書かれています。</p> <p>今回のパブコメ、さらには市議会での審議により、新市庁舎建設は次のステップに入ることでしょう。令和5年度予算として基本構想作成のための費用、審議会設置についても議会で審議されることと思います。</p> <p>耐震補強とエレベータ設置等改修により、本館は十分活用可能です。本館を民間活用のみならず、庁舎や市民活動の場として使い続けることも併せて検討し、それにより新庁舎の必要面積を算定することは重要です。</p> <p>今までの市民説明会では、登録有形文化財に対する文化庁の助成事業は小規模な建物を対象としており、市庁舎本館の整備には助成枠が少なすぎると説明を受けました。</p> <p>しかし、文化庁と市庁舎本館の利活用や助成について突っ込んだ意見交換はやられたのでしょうか?</p> <p>振り返って、2019年3月のことを思い出します。当時の基本方針案について、「十分な市民理解を得ているとは言えない」として、市議会本会議で庁舎整備事業費を削減する修正案が可決されました。</p> <p>市庁舎本館の庁舎としての活用できない理由がQ16に書かれていますが、十分な市民理解を得ていると言えるのでしょうか。</p>
N	本編	8	<p>市庁舎本館について、耐震補強等を施して、民間利用を前提として、</p> <p>(案1) 1フロアをスタバ、ターリーズ、コメダ等の喫茶スペース及び市役所保有の資料展示スペース(図書館、カルタックス、観光プラザを市庁舎本館に移転を含めてもよいのかも)</p> <p>(案2) 1~2フロアを東京駅ホテルのような、ホテルとしての利用 (参考) https://www.tokyostationhotel.jp/</p> <p>(案3) 1~2フロアを学生寮兼単身者寮としての利用 (参考) https://h-lab.co/residential-college/shimokitazawa/</p> <p>(案4) 1~2フロアをシェアハウスとしての利用</p> <p>(案5) 1~2フロアをネットカフェとしての利用</p> <p>(案6) 外部エレベーターを設置して老人福祉施設としての利用</p> <p>(案7) 国内外の私立小中高一貫校を勧誘して校舎としての利用 (参考) https://www.harrowappi.jp/ja/</p> <p>(案8) 冠婚葬祭法事会場としての利用</p> <p>以上です。ご検討ください</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
0	解説版	2	1章 H28～の実施内容の表横にこれまででかかった費用を書いて欲しい。累計費用の見える化。塔屋の耐震も含めて。
	解説版	6	3章1(2) 職員の働き方改革とあるが、新庁舎供用開始後のR13～15年の市のDXや在宅ワーク等の時代にあった働き方改革はどのように計画されているか?その計画と並行に考える必要があるのでは。 また、働き方改革と共に職員さんの意識改革も進めてほしい。
	解説版	6	質問Q4 市の職員が勉強しながら検討とあるが、そこに「市民協働」を意識し、市民とのアイデアだしの対話があってもいいと思う。市の職員さんで進められるのなら、「職員さんによるコンペ発表会」等を開催し、市民との距離を縮めながら経過を楽しんで欲しい。 これからの若者たちは関りを望んでいます。(おおむたミライ会議意見より)
	解説版	6	(3) 市民や・・ふまえ検討。本館に足を踏み入れた子ども、学生たちが少ない。土日の開放、授業での平和学習など本館が近くなる取り組みにチャレンジしてもらいたい。
	解説版	8	3章2(2)④ まちづくりへの効果:市役所だけの単体で考えるのではなく、国道沿の街並みデザインとして景観条例などを制定して20年後、30年後のまちなみ醸成を考える。その間に通り沿いの民間建物の建て替え時期がくるであろうから。そして、人に歩いてもらうストリート化。それがまちの魅力につながっていく。 正面に自販機、ポストは撤去
	解説版	9	3章3(1)(2) 進め方。市民の意見を聞きながら→ステップの途中途中でぜひ、建築科の学生達を巻き込んで、採用はできないがという前置きがあってもいいので「学生さんたちのコンペ」「みらいスケッチ(小さな子どもたちの参画)」などを企画し、市民協働のまちづくり視点でも経過を楽しんで欲しい。
	解説版	10	②③→現在7つの建物が保健センター(改修済)、南別館、北別館が残る計画だと本館、新築含め5つの分棟となる。それは、分散化、わかりにくさの解消にはならないのではないかと、S46築の南別館に床面積を新築棟で補い、解体してもよいと思う。周辺にゆとり空間がうまれる
	解説版	11	円安や世界情勢でこの物価が高い時期が続くなら、期間を延ばすこともありでは。
	解説版	14	Q16 R5年までに決定する「取扱」とは、わかりにくい。もう少し説明してほしい。 可能性のある利活用の用途が決まりますか?
解説版	19	魅力ある施設→本館の特徴である塔屋は魅力です。すぐにも一般開放できるように整備し(過去文書がかなり置かれている倉庫化していると聞きます。もったいない使い方です。倉庫に集約するなど整理して頂きたい。市職員さんにも愛着をもって欲しい。)、登って、自分のまちを眺めてもらいたい。ふるさとへの誇りの醸成。	

提出者	資料名	頁	提出された意見
0	解説版	21	意見徴収は郵便やメールでなく出前講座で多数の意見があったことは、市民が市職員さんと対話をした証しだと思います。若者意見も対話を求めています。 ぜひ、おおむたミライ会議が協力させていただきますのでこの市庁舎整備において対話の場でミライを語ってほしいです。
	解説版	21	本館をPRする必要→毎日新聞の日曜版レトロの美に本館が掲載されたことは全国にPRできたと思います。 あれは、読者である私がお金かけずに全国にPRしたいと、編集長へはがきを書いたことがきっかけです。メディアの担当者の心に届けば、取材にきてくださるほどの建築物です。ぜひ、お金をかけず、メディアを活用したPR活動をやりたいです。
	記載なし		おおむたミライ会議での若者意見 ①市庁舎が大牟田の玄関という位置づけ(立地力がすばらしい) ②若者が楽しく使える場所へ。学校でディスカッションやっている、その実践の場にしたら? ③ファンづくりが大事。多様な団体や人材をつなぐ場に市庁舎ができないかな? ④学生同士のつながり。勉強カフェ。顔がみえる本屋。 ⑤週末閉庁なので若者は接点がない ⑥市民が考える事が大事 ⑦建物は整えなおすと温かみがある。レトロ感×子ども達 ⑧歴史・伝統に価値がある ⑨高専があることは魅力。建築学科の学生はすごい。人材を集める為に市庁舎を利用する。
P	記載なし		(1) 景観性 本庁舎の存続は大牟田の遺産として必要です。なぜなら、市や他市に誇れる物が、他にありますか? 取り扱い方で財産価値が有るのでは!? 取扱を真剣に考えるべきです。
	記載なし		(2) 新庁舎の位置 新庁舎の位置の一つである笹林公園は市の中心部で広く高台であることが、市民の有効な場所です。例えば、災害等の避難場所(特に地震の場合)として大切な場所になります。また、いろんな利用で市民の憩いの場所ともなるでしょう。だから、笹林公園は止めて欲しい。 ・立体駐車場は新耐震基準であるから、そのままが良い。費用の軽減。
	記載なし		第4章 本館取扱 本館の利用を考えてみました。 ・本館をホテルにして、他の施設(動物園・ともだちや絵本美術館・プラネタリウム・石炭産業科学館・宮の原抗・カルタ館)等とコラボレーションして近隣の小中学校の修学旅行や家族旅行としてJRや西鉄に働きかけて観光化する。 ・議場はこのまま利用して欲しい。空室の場合はコンサートや結婚式場として利用する。 ・災害時の避難場所として利用。 ※整備に関係ないが笹林公園を町おこしとして、大蛇山まつりに盆踊り。ハロウィン。クリスマスイベント。の利用を考えたかどうか?
Q	解説版	3	前市長のときに開かれた市民説明会の際の耐震値(Is値)がとても大きかったのですが、ごく平均的な、ということは各地方自治体庁舎平均的なIs値を明示して、計画に反映してください。

提出者	資料名	頁	提出された意見
	解説版	8	<p>Q8で平成2年2月のアンケート結果をもちだしていますが、このアンケートはかなり誘導的な質問内容が含まれていると思われ、このアンケート自体を検証し直す必要がありますよ。もともと解体ありきの前市政が作成したアンケートであり、現市政でこれをたびたび持ち出すのはナンセンスです。</p> <p>Q9に対する庁舎の分散（分庁）について、市民サービスの向上云々とありますが、</p> <p>①市民が頻繁に利用する窓口は現在の場所がいいでしょうが、あまり利用しない分野（部署）は分庁でいいのではないですか？</p> <p>②大牟田市の財政を高額な新庁舎建設に充てるよりも、より広汎な部分に充当させるべきです。</p> <p>③統廃合した公立学校は地震対策もしてあり、校庭も広いことから駐車場や地震対策にも適しています。中もフラットですから、きわめて楽に効率的に市民が利用できますよ。</p> <p>南関町は役場に高校の廃校舎を利用しました。学ぶことは多いのではないのでしょうか？</p>
Q	解説版	10	<p>3000万円もかけて行った前年度のコンサルによる調査で、「民間事業者による利活用」がとても難しいことが判明したのではないのですか？ にもかかわらず、本年度もコンサルに委託して「検討」するのですか？</p> <p>(2) ①にある「本館については、民間業者による利活用について一定の可能性はある…」と書かれていますが、コンサルの報告書をどう読めば「一定の可能性はある」のでしょうか？</p> <p>第一、大牟田市の本館の取り扱い方が明白でないので、業者アンケートもきわめて逃げ腰というか乗り気ではなかったですね。二言目には市民のご意見を…といいながら、本館利活用に関する市民の意見はどこで集められているのですか？</p> <p>今回のパブコメも重要でしょうが、市長出席で大規模な市民説明会・市民交流会を開いた方がいいのではないのでしょうか？ぜひ、開かれた大牟田市行政を見せる一表現として開催してください。</p>
	解説版	11	<p>Q12 の財政がやはり気になります。大牟田市の税収の予想は大丈夫でしょうか？ 労働人口の減少は税収に直結します。また、人口の自然減は市庁舎整備の想定㎡数の変更を求めるはずですよ。</p> <p>足らざる部分に自由に使える「一括交付金」をこのようなハコモノ行政に使わないでください。むしろ他の地方自治体に先んじて教育面に投資してほしいと思います。子どもたちは、市役所ではなく、広場や学校で育つのですから。</p> <p>最新の税収予測を使い、是非、「安定的な財政運営を維持できる」ことをご説明ください。</p>
	解説版	12	<p>Q13 「本館の取扱によっては新庁舎の位置や規模等に影響を与えますが、それに関わらず、新庁舎に関する調査や検討は進める必要がある…」ここがこの基本方針の最大の誤りでしょう。本館をすべて民間業者にお任せして、役所の機能（行政事務機能）としては使用しないことを前提にしているからこのような誤りが起こります。本館に役所としての機能をどれだけ残すかで、新たな部分の広さ（㎡数）が決まってくるのでしょうか？</p> <p>本館の利活用をまず最初に決定しなければ、庁舎整備の次の段階には行けないはずですよ。</p> <p>委託したコンサルへは、どのような「基本方針」を伝えているのですか？</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
Q	解説版	14	<p>①解説版（14頁Q15）民間業者に全面的に依拠・依存するのではなく、大牟田市民の市役所本館なのですから、市民の声をまず第一に重きを置いて、その足らざる部分を補うというのがスジでしょう。「民間事業者の活用を促進するため、市民の皆さんと一緒にPRする…」てどういう意味？ 市役所の職員でお手上げならば、市民に問いかけてはどうですか？</p>
	解説版	14	<p>②解説版（14頁Q16）これも前市政が本館解体を選ばせようとした、市民への脅し文句。この問いを独立させて作問し、それに答えること自体が不正確だし不毛。Q17もほぼ同様。 コンサルに大金をはたき、こうしたパブコメを作成して職員の能力とエネルギーを減耗させるよりも、市長が市民の前に出て、膝つき合わせて市民に問いかけたらどうなのでしょう？ One for all, all for one. (one=大牟田市庁舎 all=大牟田市民) ですよ。</p>
	解説版	21	<p>③解説版（21頁）新型コロナの発生もあり、また年来のデジタル化の進展もあって、市庁舎への来庁頻度はますます減少し、減少しなければならない状況です。 東京渋谷区長は、来庁者ゼロの区役所をめざすとまで言っていました。このようなご時世に、何年も前の新庁舎計画の規模変更もせず、市長や幹部連中は、有能な職員のやる気をそいでいるようにしかみえません。 これでいいのですか？</p>
R	本編	1	<p>方針案全般に対して、市が本館に対して「残したい」という熱意があるのか全く読み取れない。残して中心街に欠かせぬ施設としていく将来像があるならそのイメージを記すべき。「解体方針を出したらいろいろ言われたので」検討しているだけなのか？</p>
	本編	1	<p>新庁舎位置について、本館の民活を模索されているのだから、本館が庁舎でなくなった場合、どの程度の新庁舎が必要か、現敷地や駐車場に収まるのか記してほしい。グッとイメージが具体化すると思う。 併せて駐車場敷地を庁舎に敷地にした場合、駐車場はどうするか案を記してほしい</p>
	本編	1	<p>市民意見を吸い上げ、市役所と意見交換する機会となる庁舎整備と現市政に関する説明会を開いてほしい。昨春移住してきたが、市役所も市議会も一般市民対象の市政報告会を定例議会前にも後にも開かぬことにはびっくりしている。</p>

提出者	資料名	頁	提出された意見
S	記載なし		<p>新・庁舎整備に関する基本方針(案)についての意見 新庁舎の整備についてですが、新庁舎の位置は、①現在地②立体敷地③笹林公園のいずれかにとのことですが、以前80億円規模の新庁舎の案がありましたが、それと同等規模の庁舎を建設される予定でしょうか？ 大牟田の人口は20年後には7万人台と言われております。 福岡市周辺の子育て世代が増えている都市ならまだしも人口が減り続けており、「豪雨災害」や「コロナ禍」で厳しい状況にある大牟田市が立派すぎる庁舎を立てる必要はないと思います。 荒尾市のシティーモールには市民サービスセンター(土日も開いている)が入り、手続きしたい人がモールで買い物をする、ショッピングのついでに手続きができる、という相乗効果が成り立っています。 さらに、市立図書館も併設したことにより集客も増えています。 【テナント数46店舗⇔6 1店舗(8月24日付『有明新報』より)】 例えば、空きテナントが増えてきているイオンモール大牟田内に市役所を設置、もしくは市役所の機能のある程度もったサービスセンターを設置できないでしょうか？ ずっと閉鎖されている屋上駐車場を使用することで駐車場問題も解決すると思います。 市役所から離れた地域にお住いの方は、タクシー代往復に3~4,000円かかるという話も聞きます。 例えば、公民館数か所に住民票関係や戸籍関係、税証明関係等の手続きのできる市民サービスセンターを設置する分散型にするなど。 今後、さまざまな手続きもマイナンバーカード等の普及で、電子化され大きな庁舎も必要なくなってくると思います。 立派な庁舎=市民が利用しやすい庁舎ではありません。 大きな箱の設置よりも、市民に寄り添い、そして、将来のことをより見据えた街づくりを希望します。 ※15人から同じ意見が提出された。</p>
T	解説版	19	<p>本館を改修のうえ庁舎として使用する場合は、機能性の向上が限定になるほか、既存庁舎活用部分の更新費用(建替え等の費用)がかかり結果として累計費用が高額になる 一本館がとても貴重な建物であり、全国的に評価されている建物である。 だから壊さずにきちんと改修される必要がある。一度壊したらもとはもどらない。市庁舎として市民が使うための修理をしっかりとすべき。 市庁舎の民間活用を考えずに安全性・必要性がきちんと担保されればいいと思う。市民にとってそれ以上のものはないと思う。 そして費用を払うのは市民であるから人口減もあり負担にならないようにしてほしい。</p>
U	記載なし		<p>大牟田市は少子高齢化の中人口減少も進んで財源確保も厳しい。 現在の本庁舎は国登録有形文化財である。本庁舎の利便性、バリアフリー、耐震性に問題がある。 私の提案は将来まで市民に税負担させないように、中友小学校に移転する。 今後2年間を目安に中友小学校を大正小学校と明治小学校に分ける。新しい本庁舎に見学に来てもらう。 1. 中友小学校舎をリノベーションする。 2. 運動場の木などを撤去し、利用する。 3. 体育館を解体、新しく3階建ビル建築 (1階、2階、3階、エレベーター、トイレ設置) 4. 運動場3階建の立体駐車場にする。 200台1Fマイクロバス専用10台障害者専用5台、車イス3台設置。 5. 火災防止の警報器、消火栓、防犯カメラ設置 6. 駐車場の屋根に太陽光パネル 7. プールを防火用水として活用 8. 校舎のトイレは改修、エレベーター設置、段差をなくす。 9. なぜ中友小学校を本庁舎に提案したのか。全国の市町村でも利用している。他の市町村を参考にする。 最後2030年代に大牟田市の人口は7万人以下になる。人口の7割が60才以上になる。企業も来ない。中心街も衰退している。人が来る町作りを目指す。 中友小学校のリノベーションの総額約20億~30億円予定。 現在の本庁舎は歴史館として残す。内容の詳細については後で説明します。</p>